

Ciel～しえる～

<2017/5/31 第1号>

5月12日（金）の全体研修で今年度の方向性の提案が、22日（月）には理論研修が行われました。目指す授業について少しイメージができたでしょうか？今回は提案した内容について確認したいと思います。

今年度の重点

考える力を育てる「話す・聞く」活動を

支える授業づくり

- ・「発表」から「話し合い」へのステップアップ
- ・相手の考えと自分の考えの同じところや違うところを明らかにする活動
- ・全体で交流する中で、自分の考えを再構築する活動

国語科に絞って取り組みます。話し方や聞き方といった「型」からいかに話し合いにつなげるかが課題です。

なお、6月13日（火）5年1組で提案授業を行う予定です。

これを実践するために…

指導段階	授業の段階
入門初期	発表の仕方の指導
入門期	発表の授業（事実レベル）
中期	発表の授業（解釈レベル）
中期以降	話し合いの授業

学年間の系統は示していません。各学級の実態に合わせて取り組んでいきたいと考えています。

道徳の教科化に向けて

来年度から実施される道徳の教科化に向けて、研修の案内や情報の提供も積極的に行っていきたいと思っています。学習指導部と連携しながら、特に評価についての研修を行います。

校長先生から

子どもたちの言動を私たちの指導のパロメーターにし、授業づくりをどうすべきか考えていってほしい。ここぞという山場は全員の目線を集めることも大切。

研修は教師が振り返りをする場。忙しい中でも短時間で良いので集まってミニ研修をしたり、校外の研修に積極的に参加し環流してほしい。